

妊婦の貧血の発現とその管理の評価に関する研究

——施設分娩例と地域分娩例の比較——

研究協力者 本多 洋 (三井記念病院産婦人科母性保健部長)

妊婦の貧血については施設の分娩例に対する調査が数多く行われている。一方、地域内の調査は比較的少い感がある。

今回、研究協力者として本多は過去5年間に在職した東京大学医学部付属病院分院で分娩した1724例について、妊娠中の貧血発現の頻度および貧血と他のさまざまな妊娠合併症、分娩経過との関連及び新生児体重などとの関連を検討した。

一方、同時期に東京都目黒区碑文谷保健所において生後3か月の健康診査に乳幼児をつれて来所した1541例の婦人に調査表を渡し、その子を妊娠中の貧血の有無、その他の妊娠・分娩時の状況について調査を行った。

東大分院では妊娠中に貧血が発見されると全例鉄剤を投与して分娩までに完全に回復させることを慣例としている。地域内での分娩例(保健所調

査例)では必ずしも管理が十分でなく、妊娠中の貧血が分娩時まで持続した例が多い。

そこで、東大分院での分娩例と保健所での調査例を比較することは、妊婦の貧血管理を行うことの妊娠・分娩におよぼす効果に対する評価を考えることになる。

両群における妊娠中毒症の発症率、分娩時間の差、分娩時出血量の差、新生児仮死の有無、出生体重の差などの比較を行ってみた。

いずれの項目においても東大分院での成績の方が、保健所調査の例に対して良好な結果が得られた。

このことは、妊娠中の貧血のチェック及び治療が母子保健上有効であり、貧血の発症の多少よりも、その治療・管理の不足が母子保健レベルの尺度となりうることを示唆するものである。

統計対象

東大分院産婦人科分娩例(昭和50～54年) 総数1724例

目黒区碑文谷保健所管内出産例(昭和53年度) 1541例

<貧血発現頻度>

東大分院	689/1724	……	39.97%
保健所管内	775/1541	……	50.29%

<経産回数別貧血発現頻度>

	東大分院		保健所管内		
0回産	330/853	…38.7%	0回産	363/678	…53.5%
1回経産	275/682	…40.3			
2回経産	73/165	…44.2	経産	412/863	…47.7%
3回以上	11/24	…45.8			

<年齢別貧血発現頻度>

東大分院			保健所管内		
10才代	2/3	...66.7%	1/3	...	33.3%
20~24才	132/320	...41.3%	88/166	...	53.0%
25~29才	308/809	...38.1%	412/835	...	49.3%
30~34才	192/463	...41.5%	219/451	...	48.6%
35~39才	47/111	...42.3%	51/90	...	56.7%
40才以上	10/18	...55.6%	0/4	...	0.0%

両群における貧血群と正常群との妊娠予後の差について

東大分院		保健所管内	
貧血群	正常群	貧血群	正常群
妊娠中毒症		妊娠中毒症	
85/689...12.3%	127/1035...12.3%	106/774...13.7%	129/786...16.4%
分娩時まで(+)		定型的	
39/689...5.7%	74/1035...7.1%	17/774...2.2%	37/786...4.7%
分娩時間		分娩時間	
hrs			
~5	256...39.4%	395...42.7%	321...45.1%
6~11	206...31.7%	282...30.5%	234...32.9%
12~17	98...15.1%	130...14.0%	86...12.1%
18~23	46...7.1%	61...6.6%	27...3.8%
hrs			
24~	44...6.8%	60...6.5%	48...6.8%
	650 100.0%	926 100.0%	711 100.0%
			727 100.0%
児体重		児体重	
出生時 2500g未満		出生時 2500g未満	
22/689...3.2%	85/1035...8.2%	32/774...4.1%	34/786...4.3%
2000g~2499g			
17/689...2.5%	52/1035...5.0%		
帝切例		帝切例	
54/689...7.83%	51/1035...4.93%	48/774...6.2%	31/786...3.94%
新生児仮死		新生児仮死	
16/689...2.3%	18/1035...1.7%	44/712...6.2%	25/732...3.4%
巨大児		巨大児	
出生時 4000g以上		出生時 4000g以上	
35/689...5.1%	31/1035...3.0%	23/774...3.0%	26/786...3.3%

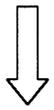
地域としての差について

1. 妊娠中毒症発症率	東大分院 212/1724...12.3%	保健所管内 235/1541...15.2%
2. 18hrs以上分娩遷延例	東大分院 211/1580...13.4%	保健所管内 168/1421...11.8%

3. 低体重児出産(生)率				
東大分院	107/1724	6.2 %	保健所管内	66/1541 4.3 %
4. 巨大児出産(生)率				
東大分院	66/1724	3.8 %	保健所管内	59/1541 3.8 %
5. 帝王切開率				
東大分院	105/1724	6.1 %	保健所管内	79/1541 5.1 %
6. 新生児仮死率				
東大分院	34/1724	2.0 %	保健所管内	69/1425 4.8 %



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



妊婦の貧血については施設の分娩例に対する調査が数多く行われている。一方、地域内の調査は比較的少ない感がある。

今回、研究協力者として本多は過去 5 年間に在職した東京大学医学部附属病院分院で分娩した 1724 例について、妊娠中の貧血発現の頻度および貧血と他のさまざまな妊娠合併症、分娩経過との関連及び新生児体重などとの関連を検討した。